

## 2026 年度シェイクスピア祭のお知らせ

2026 年度シェイクスピア祭は、2026 年 4 月 26 日(日)に対面で開催される予定です。シェイクスピア祭は、日本英文学会・日本シェイクスピア協会の共催で行われ、一般公開(非会員は要事前申込)で無料です。お誘いあわせのうえ、奮ってご参加ください。

シェイクスピア祭一般参加者登録フォーム

<https://forms.gle/66SSwbxCG5KbyhnEA>



\* 協会員の方は申し込み不要です。

**日時:2026 年 4 月 26 日(日) 13:00~16:40**

**場所:日本女子大学 目白キャンパス 百二十年館 B1F 12001 教室**

[東京都文京区目白台 2 丁目 8-1]

最寄駅からのアクセス

JR 山手線「目白駅」から徒歩 約 15 分バス 約 5 分(都営バス白 61「日本女子大前」バス停)

東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅(3 番出口)から徒歩 約 8 分

東京メトロ有楽町線「護国寺」駅(4 番出口)から徒歩 約 10 分

### プログラム

13:00 開会の辞 佐藤 達郎(日本シェイクスピア協会会長・日本女子大学教授)

13:10 講演 河合 祥一郎氏(日本シェイクスピア協会元会長)

『ファヴァシヤムのアーデン』をシェイクスピアの正典に加える問題をめぐって

14:40 休憩

15:00 トーク 菅野 文氏(漫画家)

テーマ『薔薇王の葬列』シリーズとシェイクスピア

聞き手 松山 響子氏(駒沢女子大学教授)

16:30 閉会の辞 阿部 公彦(日本英文学会会長・東京大学教授)

### 講演要旨 『ファヴァシヤムのアーデン』をシェイクスピアの正典に加える問題をめぐって

2016 年にオックスフォード版新シェイクスピア全集に、『ファヴァシヤムのアーデン』が収められた。この作品をシェイクスピアの正典に加えることを疑問視する声もあるが、作品を丁寧に読み込むことによって見えてくるものがある。講演者は、オックスフォード版編者らの決断を尊重し、原文を丁寧に読み込んだうえで翻訳し、

それをもとに本邦初の上演も企画した。そもそもシェイクスピアらしさとは何なのか、本作を試金石としてシェイクスピア的な要素に迫りたい。

## トーク要旨 「『薔薇王の葬列』シリーズとシェイクスピア」

『薔薇王の葬列』シリーズは日本では上演の機会が少ないウィリアム・シェイクスピアの『ヘンリー6世』3部作と『リチャード3世』を原案にした漫画家菅野文の作品です。菅野文氏は『薔薇王の葬列』以前にも、『オトメン(乙男)』(白泉社)という作品でも知られており、現在は「チャンピオンクロス(秋田書店)」誌上にてギリシャ神話を原案にした『冥王の柘榴』を連載中です(既刊 2巻)。本トークでは『薔薇王の葬列』シリーズを中心にシェイクスピア作品に興味を持ったきっかけや、シェイクスピアをはじめとする「古典」を創作の原案とすることについて伺っていきます。

### \*\*\*\*\* 講演者プロフィール \*\*\*\*\*

#### 河合 祥一郎(かわい・しょういちろう)氏

坪内逍遙の兄・義衛の玄孫。シェイクスピア協会元会長。ケンブリッジ大学と東京大学より博士号取得。著書にサントリー学芸賞受賞作『ハムレットは太っていた!』(白水社)、共著に *The Routledge Handbook of Shakespeare and Interface* (英ラウトリッジ社、2022)ほか。最新刊はシェイクスピアの新訳『タイタス・アンドロニカス／ファヴァシヤムのアーデン』角川文庫。2026年11月21日～29日、調布市せんがわ劇場にてシェイクスピア作『ファヴァシヤムのアーデン殺人事件』(訳・演出＝河合)を日本初上演する。



#### 菅野 文(かんの・あや)氏

東京都生まれ。2001年「花とゆめ」(白泉社)に掲載の『ソウルレスキュー』でデビュー。代表作『オトメン(乙男)』(白泉社)は大ヒットを記録し、TVドラマ化もされるなど社会現象となる。2013年より「月刊プリンセス」(秋田書店)にて『薔薇王の葬列』の連載を開始。ウィリアム・シェイクスピアの戯曲『ヘンリー六世』『リチャード三世』を原案に描かれた本作は、累計発行部数200万部を突破し、TVアニメ化・舞台化を果たすなど高い評価を受けている。現在、webマンガサイト「チャンピオンクロス」(秋田書店)にて『冥王の柘榴』を連載中。

